

8月19日のウクライナ情報

安齋育郎

●ブチャの真実、時系列的分析(2022年4月8日)

※安齋注:この情報の読者には「もう飽きた!」というところかもしれませんが、読者の一人によれば、「朝日新聞」でさえ、ロシア軍がブチャから撤退した日について、8月14日朝刊1面で、「4月1日、ロシア軍はブチャから撤退」と断定して報じたものの、8月17日、国際面記事「ブチャ遺体掘り起しなお」では、「ロシア軍が3月末にキーウ近郊から撤退して4カ月半が過ぎ…」となっています。「プロの記者」(ホントにプロかなあ?)が事実確認さえ出来ない状況が続いています。ブチャの出来事では「時系列的解析」が極めて重要なので、「4月1日撤退」などと思っていれば同日のブチャ市長のコメントなど正確に解釈できなくなり、ひいては、この事件をだれが起こしたのかの考察に決定的な間違いを犯すことになりかねません。「ウソも100万弁つけばホントになる」と言いますが、定着しかかっているウソを修正するには「1000万弁ぐらい」必要かもしれません。

<https://ameblo.jp/akisayotei/entry-12736251909.html>

●米供与の高機動ロケット砲、戦況に「大きな影響なし」ロシア国防相(2022年8月17日)

(CNN) ロシアのショイグ国防相は8月16日、米国からウクライナに供与された高機動ロケット砲システム「HIMARS(ハイマース)」について、ウクライナでの戦争に「大きな影響」は与えていないとの認識を示した。ハイマースを巡っては、ウクライナ側がロシア軍の補給インフラなどを狙って使用しているとの情報がある。



ショイグ氏はモスクワで開催された安全保障関連の会合で、出席者を前に「最近、ハイマース多連装ロケットシステムや長距離りゅう弾砲が欧米諸国によって超兵器に祭り上げられている」と述べた。

そのうえで「ハイマースは情勢に大きな影響を与えなかった」とする一方、ロシアの兵器については「戦闘でその最高の品質を確認した」と主張した。

ウクライナ当局者は以前、ハイマースや他の多連装ロケットシステムが「戦況に影響を及ぼしている」と指摘し、米軍要員や外交当局者も同様の見方を示している。

米国のブリンク駐ウクライナ大使は今日2日、CNNに対し、ハイマースを含む米国が供与した兵器が「効果を上げている」のは明らかだと述べていた。

ハイマースはウクライナ南部ヘルソン州の町で7月にあった倉庫への大規模攻撃で使われたとみられる。CNNが調べた衛星画像によると、この攻撃で2次的な爆発が起き、広い範囲が損傷した。

●ゼレンスキー大統領が見せる「本物のウクライナ」(2022年8月17日)

※安齋注:映像に日本語字幕はありませんが、画面の左半分がゼレンスキーが見せたい画像、右半分が「実態としてのウクライナ」です。加藤周一さん(評論家)が生前言っていましたが、「みんなホントのことを言ってウソをつく方法がある」ということです。つまり都合のいい事実だけ示して、不都合な事実を徹底的に排除する方法です。ゼレンスキー映像はそれですね。最後に画面にである「ノー・コメント」というコメントが、「ねっ、分かるでしょ!!」と言っている感じです。

<https://www.youtube.com/watch?v=KWUerVmTLLU>

●ドンバス 8 年の恐怖(2022年8月17日)

※安齋注:これは重要な映像です。日本の人々の大半はウクライナの東部ドンバス地方にウクライナ政府が仕掛けてきた「民族浄化」的暴虐について何も知りません。8年間、毎日毎晩、この映像のようないわれのない攻撃を自国政府軍から受けてきたドンバスの人々が「助けてくれ〜!」と叫ぶのは当然のことで、それをしも事実もあまり認識しないままに、「ロシアの侵略は国際法違反」と片づけるのはいかがでしょうか?映像の途中には、ポロシェンコ大統領の悪名高い「ロシア語話者差別演説」の一部も紹介されています。ゼレンスキーもこのドンバスのロシア語話者に対する攻撃の方針を引き継いでいますが、はたして日本の人々はこういう実態を理解してなお、「ウクライナ頑張れ!」と叫び続けるのでしょうか?

<https://www.youtube.com/watch?v=sBbk0bI-QN0>

●ある米国のネオナチの証言(2022年8月16日)

ウクライナから帰国した米国のネオナチ Kent McLellan(ケント・マクリーラン)。彼は2014年のユーロ・マイダン・クーデター直後にウクライナに行ったのだが、その旅はCIAによって促進されたものだった。

<https://www.youtube.com/watch?v=ZA5PXRRL6E>

※安齋注:これもとても重要な証言です。アメリカがウクライナのネオナチと密接につながり、育てていた様子が見えませんが、結局ゼレンスキーに見捨てられた彼の怒りは本物でしょう。

●ウクライナ政府の新刑法(キエフ・インデペンデント紙、2022年8月16日)

2022年8月16日より、「ロシアの人道支援を受け取り・配布した者」はロシアの協力者と見なし、最長で15年の刑に処す。



●ザポロージャ原発にミサイルが当たった場合の専門家の計算(ロシアテレビ、2022年8月17日)

<https://twitter.com/Jano661/status/1559760686770974720?s=20&t=tjZgG63F4vD9Ica7G4nJ9w>

※安齋注:日本語字幕付きのこの映像もまた、非常に重要です。ザポロージャ原発がウクライナ軍の砲撃にさらされている現在、日本こそこうした警告を積極的に発信しなければならないはずなのに、「アメリカの子分」は何も発信しません。



●ヨーロッパの深刻な水位低下(2022年8月18日)

エルベ川の岩に刻まれた「私を見たら泣きなさい」という河壁の言葉が現在の超低水位により新たに明らかになった。1600年代にさかのぼるこの「飢餓警告の石」は欧州初期の干ばつ警報システムであった。チェコ北部およびドイツ東部を流れ、北海へと注ぐ国際河川エルベ川。全長約1,091km。

<https://twitter.com/morpheus7701/status/1560051620989132801?t=vKu3sKvgcEPbXbc2OQ4PA&s=09>



●ノバヤ・カホフカでの人道支援(2022年8月18日)

ケルソン州ノバヤ・カホフカの住民に人道支援物資を届けるロスグバルディアの兵士達。人々は彼らが守ってくれる事に感謝している。

<https://twitter.com/morpheus7701/status/1559684694555643906?t=5goAmCL9foN7Yupuiz-jSQ&s=09>

●マリウポリの学校などでの地雷除去(2022年8月17日)

ロシア軍国際地雷対策センターの兵士と DNR の兵士は解放されたマリウポリの学校、幼稚園、運

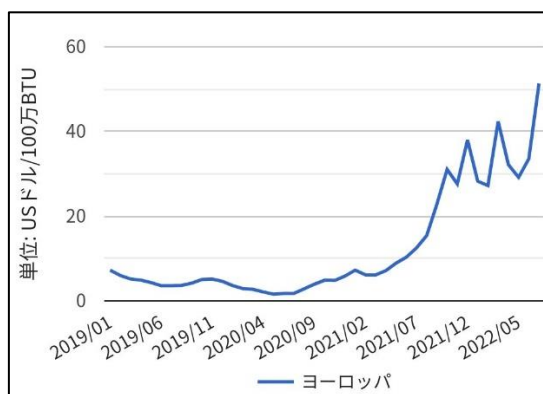
動場を視察し地雷撤去を行なっている。地雷除去機が市内の運動場の一つで爆発物を発見し破壊した。

<https://twitter.com/morpheus7701/status/1559681786887946241?t=eLZ7U8f3k47YNMbIsqSfWw&s=09>



●欧州のベース電力価格が過去最高水準に上昇(ブルームバーグ、2022年8月17日)

ブルームバーグ社によれば、欧州のベース電力価格が過去最高水準に上昇、天然ガス価格に減速の兆し全くないという。



※安齋注:ブルームバーグ(Bloomberg)社は、ブルームバーグ(Bloomberg L.P.)は、経済、金融情報の配信、通信社、放送事業を手がけるアメリカ合衆国の大手総合情報サービス会社。本社はニューヨークにある。上のグラフのた縦軸にある“BTU”は British thermal unit で、ヤード・ポンド法のエネルギー、熱量の単位である。英国熱量単位と呼ばれる。

●世界人口の 85%はRU制裁をしていない(2022年8月18日)

中国外交部の趙報道官は国際社会で誰がロシアに賛成し誰が反対しているかをグラフで示した。

